

サークル紹介

会員募集中です。
お問い合わせは横越地区公民館へ。

仏像彫刻 優美会 (彫刻)

第1・2・3 火曜 13:00~16:00

ふきのとう (ストレッチ体操)

毎週金曜 13:30~15:00



新春俳句大会のご案内

【開催日時】
令和7年2月14日(金)
午前9時30分~正午



【会場】
横越地区公民館 研修室B

【内容】
持寄り五句と一句競詠を参加者の互選により
順位を決定します。

【申込み】
1月10日(金)午後5時までに、所定の投句
用紙に持寄り五句を添えて、公民館へお申込みく
ださい。

【持寄り句題】 「新年」「冬季雑詠」

【一句競詠句題】 当日発表します。

※お問い合わせは横越地区公民館へ。

【文芸作品募集】

・・・俳句・短歌・川柳を募集します・・・

- ◆ 応募数：1人5句(5首)まで
- ◆ 俳句のお題：冬季雑詠
- ◆ 応募締切：1月10日(金)
- ◆ 応募方法：はがき・封書・FAXで、原稿末尾に住所・氏名・番号等(ある方)・
電話番号を明記してご応募ください。
- ◆ あて先：横越地区公民館「文芸作品(俳句・短歌・川柳)」係

応募作品は、「横越文芸誌」として2月下旬ごろ発行します。
横越地区公民館にありますので、ご自由にお持ち帰りください。

横越地区図書室 休室のお知らせ

蔵書点検に伴い、下記期間は休室となります。
期間中は返却とリクエスト受付のみ取り扱います。

●休室期間 令和7年 3月3日(月) ~ 3月7日(金)

横越地区公民館

- 【発行 新潟市横越地区公民館 〒950-0218 新潟市江南区いぶき野1-1-2】
- ▼ TEL 025-385-2043 FAX 025-385-4431 Mail yokogoshi.co@city.niigata.lg.jp
 - ▼ 開館時間 月曜~土曜 9:00~21:30 日曜 9:00~17:30
 - ▼ 休館日 第4月曜日(祝日の場合翌日) 年末年始(12/29~1/3)

(4)

横風

たより



冬号

横越地区公民館

日常生活

新潟市横越地区公民館
館長 山本 英二



映画監督 小津安二郎の作品に触れたことがありますか。「東京物語」「晩春」「麦秋」「秋刀魚の味」(いずれも1950~60年代)など、日本の映画史に残る作品を多く手がけました。小津作品は家族や親子を軸に、普通の日常生活が淡々と描かれるのが特徴の一つです。何か特別なことが起こるわけではなく、私たち生きていれば経験するであろう、子どもの結婚や親の死など、親子の別れや家族の解体などがテーマになっているようです。

考えてみると、私たちの日々の生活は特別なことが起きるのでなく、ごく普通の日や時間が重ねられていく感じです。もちろん、地震をはじめとする災害や大きな病気・怪我などを経験し、特別な想いや時間を持った人もいるでしょう。そういう経験をされた方は、何も起きない日常生活の大切や恋しさを強く思うかもしれません。小津作品を見ると、避けては通れない経験や場面があっても、何も起きない日常生活こそ贅沢なんだと感じてしまいます。

今は2024年師走真只中です。暦を見ながら、クリスマスやお正月のことが話題になる家庭もあるでしょう。それらもきっと、家族にとって特別ではなく日常生活のひとつかもしれません。それでは、当館の日常生活はというと……、地域の皆さまがサークル活動で利用したり、講座や事業に参加したり、図書室に來たり、学習室で勉強したりなどです。利用者の何気ない世間話も聞こえてきますが、生活感あふれる言葉や話の内容にきらびやかなものはないけど、とてもほっこりしてしまいます。特別なことが起きない公民館ですが、地域の皆さまの日常生活にこっそり入っていくものであればあるほど、存在価値が出るのではないかと思います。

2025年も今年と変わりなく皆さんの日常生活は続いていきます。何も起きない、穏やかで贅沢な一年をお過ごしください。当館も引き続き、地域の皆さまの日常生活にこっそり入れるよう翼を広げていきます。良い年をお迎えください。

【お知らせ】

年末年始の公民館

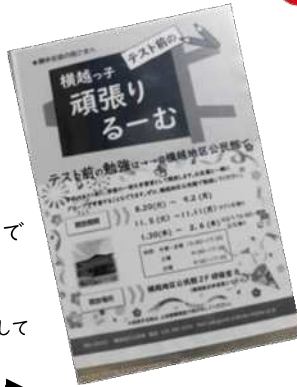
→→休館 12/29~1/3

(1)



横越っ子
テスト前の頑張り一む

- ★いつ 1.30(木)～2.6(木)
月曜～金曜 13:00～17:30
土曜 9:00～17:30
日曜 9:00～17:00
- ★どこで 横越地区公民館
- ★利用できる人 横越中学校の生徒さんほか
※横越中学校生徒の皆さまには、学校系由でご案内しています。
- ★利用方法 公民館事務室で受付をしてください。
※テスト前の頑張り一むは、公民館の部屋の一部を学習室として開放し、お友達と一緒にグループで学習することもできます



親子で我が家の
味噌をつくる。

- ★いつ 1月11日(土曜) 13:30～16:00
- ★どこで 横越地区公民館
- ★おしながき 味噌づくりとお話
- ★教える人 田中康子さん(たなか農園)
- ※ご案内は区だより、市ホームページ、LINE 等で行うとともに、小学校系由でお子さんにお送りしました。
12月18日(水曜)をもって申込み終了です。



横越ごはん塾 日誌 ～食事の大切さがわかる大人に～

ごはんのみそ汁が作れる大人になれるように……。そんな想いから地域の皆さんが力を合わせて、横越ごはん塾を開催しました。

8月のこども編では、15名の小学生が JA 新潟かがやきや農産物販売所、料理研究家の皆さんから横越の食について話を聞いた後、グループ毎にみそ汁の具材の買い出しを行い、みそ汁を作りました。具材を切り、出汁をとり、味噌を入れ、味見をして、やがて「みそ汁ができた」と笑顔が広がりました。「また、みそ汁を作りたい」といった声も聞かれました。



横越ごはん塾は子どもたちが食事を作る面白さや大切さがわかる大人になることを願って、今年度から取り組んでいます。

スピーカー 澁谷 貴子さん (社会福祉法人 横越のぎくのぎくの施設長)

横越を支える人たちのお話を聴くシリーズ。2回目はのぎくの家施設長 澁谷貴子さんです。

Q のぎくの家は、どのような施設ですか。

重度障がいのある方を中心に、様々な障がいがある人の生活を介護する施設です。昭和63年に開所し、現在16名の方が利用しています。利用者の約半分が視覚に障がいのある方が学校卒業後も、家族の皆さんが安心して我が子を任せられる場所の一つに、選んでいただいています。

Q “のぎく”にはどんな想いが込められていますか。

『野に咲く花のように、たとえ踏まれても強く生きていけるように』という想いが込められています。ここでは、障がいがあっても、自分でできることは自分でしましよと利用者と話しています。障がいが高くても、社会(地域)の中で生活することや働くことを大事にするのと同時に、一人一人の個性の部分も大切にしています。利用者本人の生きていく力を育てていければと考えています。

Q 開所から36年。地域との関わりは どうですか。

以前は、住宅地の中にのぎくの家がありました。みんなで散歩すると、町内の人たちが声をかけてくれて、温かく迎えてくれていることを実感しました。今の場所には 20 年ほど前に移転し、地域の方との交流を目的に、イベントなどを行ってきました。10月にはのぎくまつりというイベントを開催して、地域の皆さんから参加していただき、楽しいひとときを過ごすことができました。地域との関わりは、利用者が生きていくうえでとても大切なことです。これからも横越の皆さんと接点を持つことができればと思います。



【のぎくまつり】

【施設の内でも外でも働きます】